

2018 年度公開講座

「夏休みの数学 2018」の御案内

主催：弘前大学

実施学科：大学院理工学研究科

(数物科学科)

あおもり県民カレッジ単位認定講座

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

弘前大学理工学部では恒例の「夏休みの数学」を8月4日、8月5日の2日間別紙の要領で開催します。

中学校や高等学校の数学の教科書に出てくる数学の世界のすぐ近くに面白い話題がたくさんあります。そのような数学の魅力の一端を高校生や一般の市民の方に知ってもらうための企画です。2日間に独立した2つのメニューを用意しています。みなさん、お誘い合わせの上御参加下さい。御来場を心よりお待ちしております。

敬具

講座担当者 金 正道 (数物科学科)
中里 博 (数物科学科)

開催要領

1. 開催日時 8月4日(土)、8月5日(日)
2日間とも午前10時30分から午後3時までです。
2. 開催場所 両日とも弘前大学工学部1号館または2号館；部屋は当日掲示します。
3. 受講対象者 中学校、高校の数学担当教員、および数学関連諸科学に興味のある一般市民（高校生のみなさんの参加も歓迎します）
4. 募集人員 各テーマとも40名
5. 募集期間 7月2日(月)より7月23日(月)まで
6. 申込先 弘前大学大学院理工学研究科総務グループ総務担当
〒036-8561 弘前市文京町3番地
TEL 0172-39-3510 FAX 0172-39-3513
7. 申込方法 同封の申込書に必要事項をご記入の上、郵便またはファックスにてお申し込み下さい。郵便の場合は、「公開講座受講申込」と表記して下さい。申込書は下記のホームページからもダウンロードできます。
【数物科学科ホームページ】
<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~mathsci/mathphys/>
8. 受講料 無料
9. 修了証書 御希望の方には修了証書をお渡しします。
10. あおもり県民カレッジの単位認定
本講座はあおもり県民カレッジの単位認定講座となっています。
県民カレッジの学生の方は、学習記録用紙を各講座の際御持参下さい。
認定単位は両日とも3単位です。受講者にはスタンプを押印し、単位を認定します。
11. 駐車場 大学の駐車場を希望される方は、受講申込の際、車の登録番号をお知らせ下さい。8月4日(土)・8月5日(日)は両日とも大学正門守衛室での受付は不要です。大学の空いている外来駐車場、一般駐車場をご利用下さい。
12. その他 ノート、筆記具等は御持参下さい。

高校の先生方へのお願い：講座の内容は高校生にも分かるよう、やさしく解説したいと思います。数学に興味のある生徒さんに参加を呼びかけて頂ければ幸いです。

連絡担当者：中里 博
弘前大学工学部数理科学科

講座内容

8月4日（土） 金 正道

「オペレーションズ・リサーチ」

オペレーションズ・リサーチ (Operations Research)は、略してORと呼ばれ、「困っていること」(=問題)を科学的(数理的)に解決するための「問題解決学」です。経済学・経営学・理学・工学・農学・医学・芸術など文系理系を問わず、ありとあらゆる分野に応用されます。次のような面白い話題を紹介します。

「秘書問題(プロポーズ大作戦)」「スケジューリング問題(キャンプでカレーを作ろう!)」「集合場所問題(ハキミの定理)」「最小被覆円問題(ミニマックス型配置問題)」予備知識は不要です。

8月5日（日）中里 博

「微分法と積分法が拓いた自然科学・自然哲学」

ニュートンらによって17世紀の後半に確立された微分学と積分学は物理学の発展と結びつき産業革命を支える基礎として人類社会の大きな変化をもたらしました。その前史としてアルキメデスやカバリエリの求積についての成果を眺め、ついでに「瞬間の速さ」と

いう微分学の発端について考えます。さらに、ニュートンの成果としてどんなものがあるか、日本の同じ頃の数学者の成果などに触れます。

2018年度 弘前大学公開講座

「夏休みの数学 2018」受講申込書

氏 名： _____ (ふりかな)

住 所 (連絡先)：〒 _____

(電話番号)： _____

(FAX番号)： _____

職 業 等： _____

勤務先や通学先等： _____ (学年)

受講を希望されるテーマの番号に○印を付けて下さい。

(1) 「オペレーションズ・リサーチ」

8月4日 (土) 金 正道 担当

(2) 「微分法と積分法が拓いた自然科学・自然哲学」

8月5日 (日) 中里 博 担当

修了証書の希望の有無： 有 無

県民カレッジ単位認定の希望の有無： 有 無

大学の駐車場の使用希望の有無： 有 無

※ 「有」の場合、車の登録番号 (例： 青森 な 2320)